

	進取の気概 (校長室だより)	有田市立箕島中学校 自主 友愛 剛健	R5・2・17
			No.57

人生でいちばん応援してもらえるのは、受験の時かもしれない。

受験生は、いい顔をしている。

君はまだ、気づいていないだろうけど。

バスの中、塾の帰り道。

背負ったことのない

大きな期待や、重圧や、不安と戦っている。

お守り、弁当、手編みのマフラー。

家族や、教師や、友達に背中を押されながら、

目標に向かって、歩いていける。

受験生は、幸せだと思う。

君はまだ、気づいていないだろうけど。

【稲田塾】 2009年 コピーライター:廣畑 聡

3年生にとっては卒業式が近づいてきました。また、同時に県立高校の入試も近づいてきています。三者面談ではどこの高校を受験するのかということなどについて話し合い、3年生のみなさんは勉強にも熱が入ってきていることだと思います。3年生のみなさんの顔つきも少し変わってきたように感じます。

受験勉強は自分一人でする孤独なものだと思いがちですが、受験勉強は昔からよく団体戦に例えられます。お互いにサポートし合って全員で目標を達成するという思いを共有することで、もの凄い力が生み出されるということです。学級や学年がみんなで勉強して、励まし合い、支え合って取り組むことがお互いにとって大きな力となります。これから受験という人も、私立等を受験してすでに合格が内定している人も関係なしに、みんなで一生懸命になって勉強しようという雰囲気が大切です。そして、その雰囲気は次々に伝染していきます。そうすると全体として良い結果が生まれます。

受験というのは、時には自分一人では乗り越えられないことがあります。でも、立ち向かっているのは一人ではありません。がんばっているみなさんを一番近くで支えてくれるおうちの方、周りの仲間、1・2年生の後輩たち、そして私たち箕島中学校の教職員も全力でみなさんを応援しています。そして、みなさんが桜よりも早く咲いてくれることを心から祈っています。